

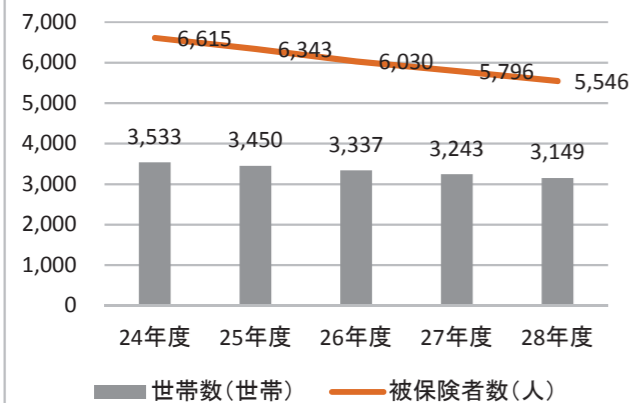
～国民健康保険の加入状況～

- ・平成28年度の国保世帯数は、平成28年度平均で3,149世帯となり、前年度より94世帯（2.91%）の減少。
- ・被保険者数は、平成28年度平均で5,546人となり、前年度より250人（4.32%）の減少。
- ・本町の人口に占める国保加入者の割合は、35.4%となり年々減少している。

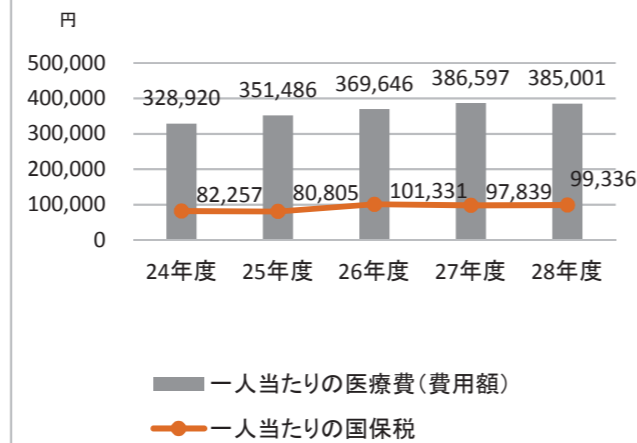
～一人当たりの医療費と国保税～

- ・平成28年度における一人当たりの医療費は385,001円で、一人当たり国保税は99,336円となった。
- ・本町の国保加入者数は毎年約250人ずつ減少しているが、医療費は年々増加している。
- ・平成24年度から4年間で一人当たりの医療費が56,000円増えた。

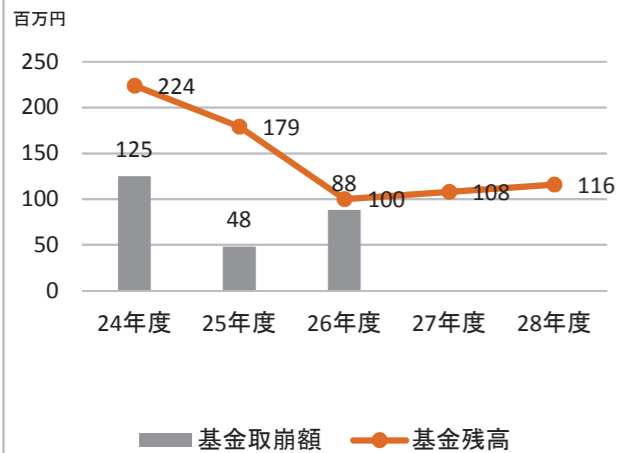
【国保世帯数・被保険者数の推移】



【一人当たり医療費と国保税の推移】



【基金の推移】



平成28年度決算における基金残額は約1億1千万円です。今後も高齢化による医療費の増加が見込まれる中、一定額の基金を確保していくことが重要になってきます。

◆医療費の適正化のために

- ①かかりつけ医を持ちましょう。
- ②休日、夜間の受診や重複受診は避けましょう。
- ③小児救急電話相談を利用しましょう。
(#8000)
- ④ジェネリック医薬品を利用しましょう。

◆特定健診・特定保健指導を受けましょう

対象者(40歳以上75歳未満の国保の被保険者)の方は、年に1回必ず受診して、ご自身の健康管理に役立てましょう。

◆第三者行為だけがや病気をしたときは国保に届け出しましょう。

交通事故などの第三者行為にあったときは国保でお医者さんにかかることができますが国保への届出が必要です。(国保が使えない場合もありますのでご注意ください)

問い合わせ先 健康福祉課 国保年金係 ☎ 72-1229

平成28年度国民健康保険特別会計決算報告について

平成28年度の国民健康保険特別会計の決算状況は、歳入が31億9,500万円(対前年度比2.0%減)歳出が30億5,400万円(対前年度比4.0%減)となりました。歳入、歳出差し引き残額1億4,100万円のうち、一部を国保財政調整基金に積み立て、残額を平成29年度に繰越しました。

歳入の主なものは、国・県支出金で9億1,400万円(対前年度比5.6%減)で歳入の約3割を占めています。国民健康保険税は5億6,400万円(対前年度比1.3%減)で歳入の約2割を占めており、医療費の重要な財源となっています。療養給付費交付金、前期高齢者交付金を合わせると67%となり財源の半分以上を占めています。

歳出の主なものは、医療費の支払となる保険給付費で約18億2,900万円(対前年度比3.6%減)で歳出の約6割を占めています。

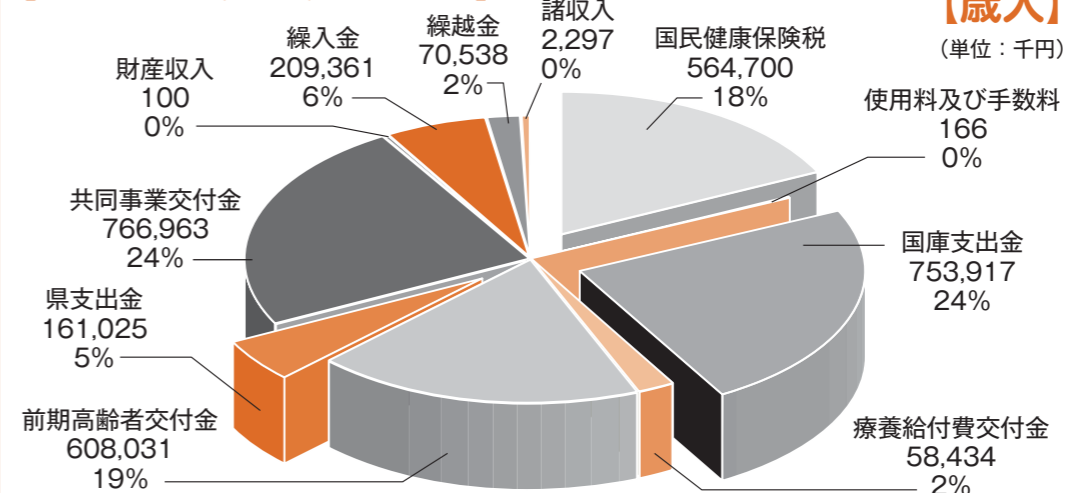
後期高齢者支援金や介護納付金、高額な医療費等の支払のための共同事業拠出金とあわせると歳出の9割以上を占めています。

山都町では国保財政運営の健全化に向け、平成26年度に国保税の改正を行うとともに医療費の抑制のため特定健康診査事業を住民検診や節目検診と一体的に実施し、増加する生活習慣病や重症化予防に取り組みました。

また、平成28年度は熊本地震や豪雨災害に係る半壊以上の被災者に対し、国保税や一部負担金の減免を行いました。

～歳入歳出決算状況～

【歳入総額 3,195,531 千円】



【歳出総額 3,054,390 千円】

